

農政の動き 2017年9月15日～9月21日

◎G I 保護制度の対象に三つを追加登録

農林水産省は、新たに山口県の「美東（みとう）ごぼう」、徳島県の「木頭（きとう）ゆず」、イタリアの「プロシュット ディ パルマ」（パルマハム）の三つを地理的表示（G I）保護制度の対象に登録したと発表した。地域の特色ある方法で生産された産品を国が登録・保護する仕組みで、海外品の登録は初めて。登録総数は42産品となった。（15日）

◎岡山県でヒアリ確認 11都府県・19例目に

環境省は、岡山県笠岡市の事業所で特定外来生物で強い毒を持つ南米原産の「ヒアリ」1匹を確認したと発表した。中国から輸入された積み荷から見つかり、すでに殺処分した。国内の確認例で6月の初確認以降、11都府県で計19例となった。（20日）

◎がん患者数 日本海側で比較的多い

国立がん研究センターは、2013年に新たにがんと診断された人は86万2千人で、人口に対する患者の割合は北陸や山陰など日本海側で比較的大きいとする分布結果を公表した。部位別でも胃がんが日本海側、肝臓がんは西日本で多いなどの地域差が明らかになった。高齢化に伴い、当面患者の増加は続く見込みで、17年は過去最高の101万4千人になると予測している。（20日）

◎日仏首脳会談 E P A 早期発効への協力を確認

安倍晋三首相は米国・ニューヨークで、フランスのマクロン大統領と会談し、日本と欧州連合（E U）との経済連携協定（E P A）の早期の署名・発効に向けて協力していくことを確認した。安倍首相は、保護主義的な動きの中で、同E P Aの大枠合意は、日本とE Uが自由貿易の旗を高く掲げ続けるという世界へのメッセージとなった旨を述べた。（20日）

◎17年の訪日外国人旅行者が2千万人を突破

観光庁の田村明比古長官は20日の記者会見で、2017年に日本を訪れた外国人旅行者が9月15日時点の推計で2千万人を超えたと発表した。10月30日に突破した昨年より45日早く、過去最速のペース。全然に比べ大幅に増えた韓国が全体を押し上げた。（20日）

◎競争力強化支援法の「事業再編計画」を初認定

農林水産省は、8月施行の農業競争力強化支援法に基づき、オイシックスドット大地から提出された「事業再編計画」を認定したと発表した。事業再編計画の認定は初。10月1日に大地を守る会と合併し、販売促進の強化や生産者の販売機会の拡大などに取り組む内容で、認定されたことにより、設備投資への減価償却の特例を受けることができる。（21日）